

第525号
令和6年

11月20日



すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住専売店
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

「総合診療科」について

「なんでも診る」「患者を丸ごと診る」。そんな医療を目指して生まれた「総合診療科」制度。総合診療科の医師たちは、様々な病気やけがなどを総合的な診察できるジェネラリストです。そうは言つても、何をするところか分からぬ?詳しい話を同善病院（荒川区三ノ輪）在宅部門長の医師、稻垣あゆみさんに聞きました。



稻垣あゆみさん

◆総合診療科はどのような科ですか

何でも相談ができる、何でも相談を受けることができる科です。循環器内科と言えば心臓が専門、呼吸器内科なら肺が専門、というイメージがありますよね。「総合診療科は何が専門ですか」と聞かれたら、「あなたの専門医です」とお伝えします。幅広い病気が診られるという意味もあるし、病気だけでなく、社会的な困難さを持つている方、心理的な困りごとを持つている方、そういう方たちのすべてを診ることができます。

◆あなたの体の専門医、という意味ですか
体だけではありません。その人のすべてを診ることができます、という意味です。体調が悪いとき、日本人は病院のどこの科に行くか自分で決めてしまいますがね。腰が痛いときは整形外科、おなかが痛いときは消化器内科…。でもその腰の痛みは骨からきているので

はなく、内臓疾患が原因ではないのか、といふところを含めて診るのが総合診療科です。あまり難しく考えず、何か困りごとがあればとりあえず相談しようと思つてもらえればあります。

◆そんなことで診療を受けていいのかと、みんな思ってしまいます

病気は専門の医師が診るのが当たり前だつたので、何でも相談して言われて戸惑うのは当然だと思います。同善病院は「地域に出ていこう」という活動があつて、先日、木村病院さんと一緒に「キッズホスピタル」（子ども病院）という催しに参加したのも、その一環でした。そういうところから親しみを持ったいただき、気持ちのハードルを下げていけたらなと思います。

◆どこが悪いのか分からないけど調子が悪い、どの科を受診すればいいのかが分からない。そんな場合も、総合診療科を尋ねればいいのですか

そうです。体調の悪さの原因を突き詰めていくと、原因は心臓だったということもありますよね。そういう場合、循環器内科の専門医にお繋ぎするのも総合診療科の役割。どちらが窓口と考えてください。

◆やはりワンストップで様々な疾患を調べてくれる科に総合内科があります。違いはあるのですか。

総合内科は基本的には内科の疾患を調べるところです。総合診療科は内科だけでなく、皮膚の疾患やお子さんの病気なども診ています。がんの患者さんも、難病の患者さんの最

期を診る緩和ケアもしています。海外では「家庭医療」と呼ばれることが多いですね。幼いころから何かあれば家庭医療の医師に相談する、必要に応じてその医師が専門医を紹介する、という流れが一般的です。日本では「かかりつけ医」が最も近いと思います。

◆同善病院が地域に出ていこうとするのはなぜですか

ひとつには地域の人たちを健康にしたいという思いがあるから。もうひとつは、病院自体も地域を形成する存在でありたいからです。病院が特別な場所ではなくなり、気軽に相談をしてもらえる存在になればうれしい。

◆稻垣さんは初めから総合診療の医師にならうと思っていたのですか

私が医師を志望したきっかけは、高校一年生のときですが、先生が職員室で倒れ、突然死したことでした。その直前まで、先生はとても元気そうに見えたけれど、本当は体調が悪かったのかなとか、何かを思い悩んでいたのかなとか、当時の私は考えました。そして「先生に相談できる場所があったのか」と思うようになり、将来は何でも相談してもらえる存在になりたいと、医師を目指しました。医学生になつてから、私が理想とする医師像を実現できることは、まさに総合診療科なのだと知りました。

◆地域の人には何を伝えたいですか

何でも相談してください。それ